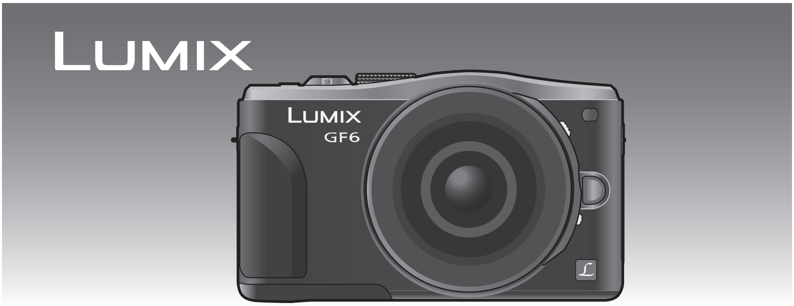
Panasonic®

# 取扱説明書　基本操作編

デジタルカメラ/レンズキット/ ダブルズームレンズキット/ ボディ

## 品番 DMC-GF6X/DMC-GF6W DMC-GF6




このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(55～60ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

### 本機の詳しい操作説明について

**本機の使い方や使用上のお願いなど詳しい操作説明は、本機のCD-ROM(付属)に記録された「取扱説明書 詳細操作編」(PDFファイル)に記載されています。**

- パソコンにコピーしてお読みください。コピーのしかたは3ページをお読みください。

保証書別添付

VQT4Y62
F0313CT0

# 目 次

**「安全上のご注意」を必ずお読みください（55～ 60ページ）**





## 落下を防ぐために

ショルダーストラップを取り付けてからお使いください。

- ショルダーストラップの取り付け方は、10 ページをお読みください。

# 取扱説明書 詳細操作編（PDF形式）を読む

本機操作の詳細については、CD-ROM（付属）の「取扱説明書 詳細操作編」に記載されています。パソコンにコピーしてお読みください。

## ■ Windowsの場合

**1** パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）を入れる

**2** インストールメニューが表示されたら、[ 取扱説明書 ] をクリックする

**3** [日本語] が選ばれている状態で、[取扱説明書] をクリックしてコピーする

**4** デスクトップの [取扱説明書] のショートカットアイコンをダブルクリックして開く

## ■ 取扱説明書 詳細操作編（PDF形式）が開けないときは

取扱説明書 詳細操作編（PDF形式）を閲覧・印刷するためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降、またはAdobe Reader 7.0以降が必要です。
お使いのパソコンにインストールされていない場合は、CD-ROM（付属）を入れ、[Adobe Reader]をクリックしたあと、画面のメッセージに従って進み、インストールしてください。
（対応OS: Windows XP SP3/Windows Vista SP2/Windows 7/Windows 8）

- Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードすることもできます。
  http://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/

## ■ 取扱説明書 詳細操作編（PDF形式）をアンインストールするには

"Program Files￥Panasonic￥Lumix￥" フォルダー内のPDFファイルを削除してください。

## ■ Macの場合

**1** パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）を入れる

**2** CD-ROMの「Manual」フォルダーを開く
- 「Manual」フォルダーがもう一度表示されます。

**3** 表示された「Manual」フォルダーを開き、言語フォルダーの中の PDF ファイルをコピーする

**4** PDFファイルをダブルクリックして開く

「取扱説明書 詳細操作編」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。
http://panasonic.jp/support/dsc/
- スマートフォン/タブレットでも取扱説明書をご覧いただけます。詳しくは、お使いのパソコンなどで、上記のサポートサイトをお読みください。

# ご使用の前に

## ■ 本機の取り扱いについて…

**本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。**

- 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、外装ケースが破壊される可能性があります。また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
  – 本機を落とす、またはぶつける
  – レンズ部やモニターを強く押さえつける

**本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。**
**ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。**

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
  – 砂やほこりの多いところ
  – 雨の日や浜辺など水がかかるところ

**デジタルカメラボディのマウント内に手を入れないでください。**
**センサー部は精密機器ですので故障、破損の原因になります。**

## ■ 露付きについて（レンズ、モニターが曇るとき）…

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやモニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源スイッチを [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

## ■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

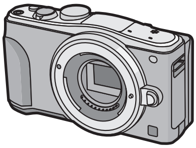
## ■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

## ■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

# 同梱品



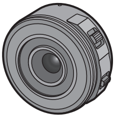
**デジタルカメラボディ**
（本文中では**本体**と表記します）

**付属品をご確認ください。** ☑



記載の品番は2013年3月現在のものです。変更されることがあります。

## DMC-GF6X（レンズキット商品）に同梱

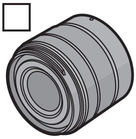
☐ 

**交換レンズ**（H-PS14042）
LUMIX G X VARIO PZ 14–42 mm/F3.5–5.6 ASPH./POWER O.I.S.
（本文中では**レンズ**と表記します／お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています）

☐ 

**レンズキャップ**※
VYF3443

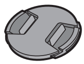
## DMC-GF6W（ダブルズームレンズキット商品）に同梱

☐ 

**交換レンズ**（H-FS1442A）
LUMIX G VARIO 14–42 mm/F3.5–5.6 Ⅱ ASPH./MEGA O.I.S.
（本文中では**レンズ**と表記します／お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています）

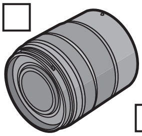
☐ 

**レンズフード**
VYC1113

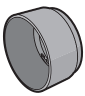
☐ 

**レンズキャップ**※
VYF3510

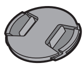
---

☐ 

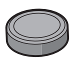
**交換レンズ**（H-FS45150）
LUMIX G VARIO 45–150 mm/F4.0–5.6 ASPH./MEGA O.I.S.
（本文中では**レンズ**と表記します）

☐ 

**レンズフード**
VYC1090

☐ 

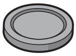
**レンズキャップ**※
VYF3201

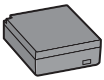
☐ 

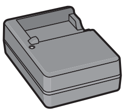
**レンズリアキャップ**※
VFC4605

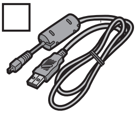
※お買い上げ時は交換レンズに装着されています。

**DMC-GF6（ボディ商品）に同梱**

□ 
**ボディキャップ**
VKF4971
（お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています）

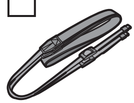
□ 
**バッテリーパック**
DMW-BLG10
（本文中では**バッテリー**と表記します）
- 充電してからお使いください。

□ 
**バッテリーチャージャー**※
DE-A99A
（本文中では**チャージャー**と表記します）

□ 
**USB 接続ケーブル**
K1HY08YY0034

□ 
**CD-ROM**
- ソフトウェア
- 取扱説明書 詳細操作編

（パソコンにインストールしてお使いください）

□ 
**ショルダーストラップ**
VFC4765

**※ 予備のチャージャーを購入されるときは、別売品のチャージャー（DMW-BTC9）をお買い求めください。**

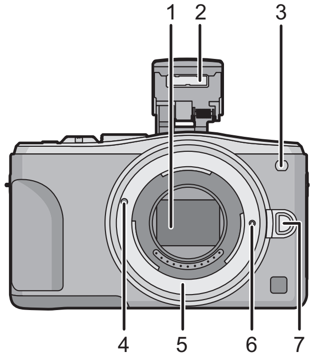
- **カードは別売です。**
- 別売品については40ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 本書では交換レンズ（H-PS14042）を用いて説明をしています。

# 各部の名前と働き



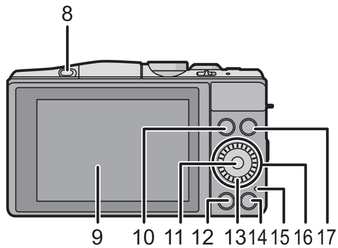
## ■ デジタルカメラボディ

1 センサー
2 フラッシュ発光部
3 セルフタイマーランプ / AF補助光ランプ
4 レンズ取り付けマーク
5 マウント
6 レンズロックピン
7 レンズ取り外しボタン(P10)




8 フラッシュOPEN(オープン)ボタン
- フラッシュが開き、フラッシュ撮影が可能になります。

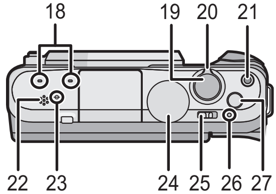
9 タッチパネル/モニター(P9)
10 [▶](再生)ボタン(P17)
11 [MENU/SET(メニュー セット)] ボタン(P14)
12 [Q.MENU(クイックメニュー)]ボタン(P15)/ [Fn1(ファンクション)] ボタン(P15)/ [🗑/↩](消去 / 戻る)ボタン(P19)
13 コントロールダイヤル
14 [Wi-Fi(ワイファイ)]ボタン(P32)/ [Fn2(ファンクション)] ボタン(P15)
15 Wi-Fi®接続ランプ
16 カーソルボタン
▲(上)/ 露出補正ボタン(P26)
▶(右)/ WB(ホワイトバランス) ボタン(P27)
◀(左)/ オートフォーカスモードボタン(P27)
▼(下)/ ドライブモードボタン
**以下の設定をすることができます。**
**単写(P16)/ 連写 / オートブラケット / セルフタイマー**
17 [DISP.(ディスプレイ)] ボタン
- 押すごとにモニターの表示を切り換えます。



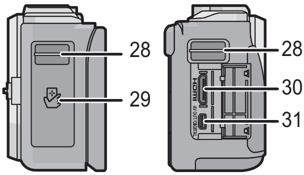
18　ステレオマイク
- マイクを指で塞がないようお気をつけください。音が記録されにくくなります。

19　シャッターボタン(P16)
20　ファンクションレバー
21　動画ボタン(P16)
22　スピーカー
- スピーカーを指で塞がないようお気をつけください。音が聞こえにくくなります。

23　撮影距離基準マーク
24　モードダイヤル(P20)
25　電源スイッチ(P13)
26　電源表示ランプ(P13)
27　iA(インテリジェントオート)ボタン(P22)



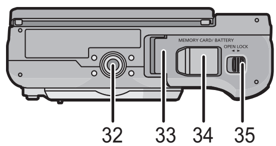

28　ショルダーストラップ取り付け部(P10)
29　NFCアンテナ部[ ](P32)
30　[HDMI]端子
31　[AV OUT(アウト)/DIGITAL(デジタル)]端子




32　三脚取り付け部
- ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を傷つける場合があります。

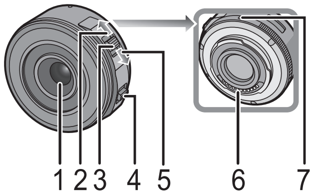
33　カード/バッテリー扉(P11、12)
34　DCカプラー扉
- ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC8)とDCカプラー(別売:DMW-DCC11)を使用してください。

35　開閉レバー

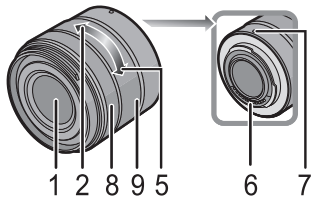


## ■ 同梱レンズ

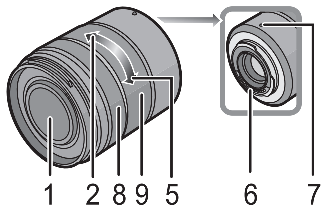
H-PS14042




H-FS1442A




H-FS45150




1　レンズ面
2　T側(望遠)
3　ズームレバー
4　フォーカスレバー
5　W側(広角)
6　接点
7　レンズ取り付けマーク
8　フォーカスリング
9　ズームリング

# タッチパネル

本機のタッチパネルは、静電容量方式です。タッチパネルは直接指でタッチしてください。

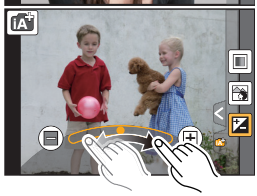
## ■ タッチする




タッチパネルに触れて離す動作です。
項目やアイコンを選択するときなどに使います。

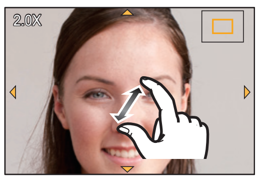
- 複数のアイコンを同時にタッチすると、正常に動作しないことがありますので、アイコンの中央付近をタッチしてください。

## ■ ドラッグする



タッチパネルに触れたまま動かす動作です。
AFエリアを移動したり、スライドバーを操作するときなどに使います。
再生時は画像を送ることなどもできます。

## ■ ピンチする(広げる・縮める)



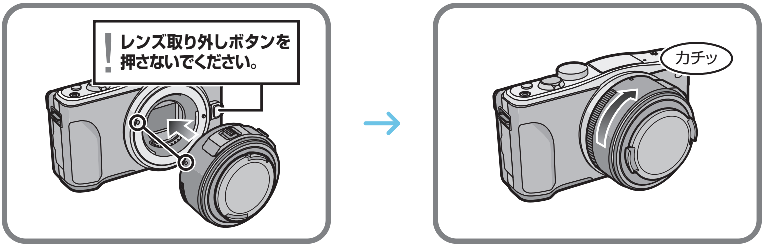

タッチパネルを 2 本の指で広げる(ピンチアウト)と拡大し、縮める(ピンチイン)と縮小します。
再生画像やAFエリアを拡大/縮小するときなどに使います。

# 準備

- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認する。

## レンズを交換する

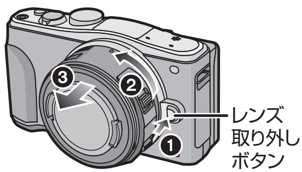
- レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。




### ■ レンズの取り外し方

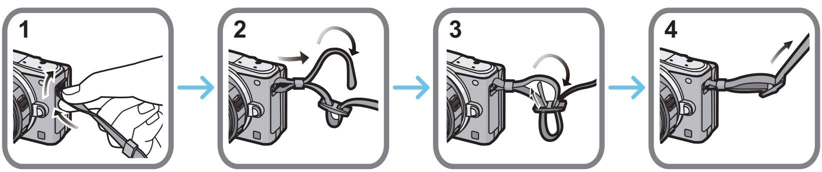
*1* レンズキャップを付ける

*2* レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す




## ショルダーストラップを付ける

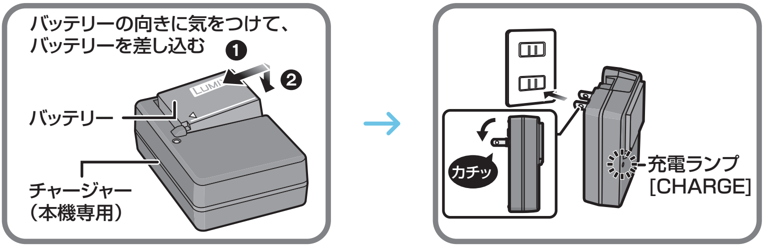
- **落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。**




- ショルダーストラップ取り付け部に通りにくいときは、ショルダーストラップの先端にある固い部分を軽く曲げてから通すと、取り付けやすくなります。
- 手順**1**～**4**の操作を行って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。

## バッテリーを充電する

本機で使えるバッテリーはDMW-BLG10です。




### ■ 充電ランプの表示について

点灯：充電中

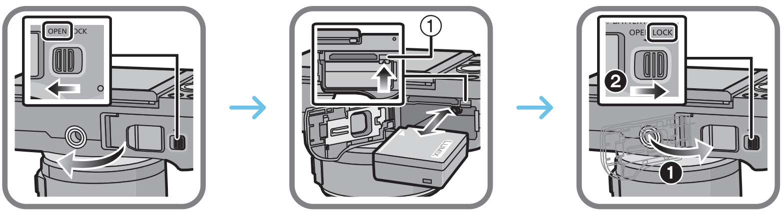
消灯：充電完了（充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください）

### ■ 充電時間について

| 充電時間 | 約190分 |
|---|---|

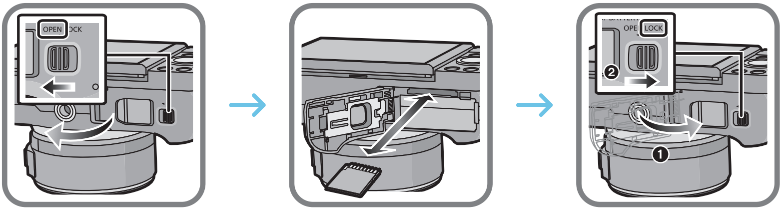
● 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

## バッテリーを入れる・取り出す




● 向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーに①のレバーがかかっていることを確認してください。取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出してください。

## カード(別売)を入れる・取り出す




- 向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れてください。
  取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜いてください。

### ■ 本機で使用できるカードについて

SDメモリーカード(8 MB～2 GB)/miniSDカード※/microSDカード※
SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)/microSDHCカード※
SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB)

※ 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

### ■ 動画撮影とSDスピードクラスについて

動画撮影の際は、カードのラベル面などでSDスピードクラス(連続的な書き込みに関する速度規格)をご確認ください。[AVCHD]、[MP4]動画には「Class4」以上のカードを使用してください。

（例）

- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  **http://panasonic.jp/support/dsc/**

## カードをフォーマット(初期化)する

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。**

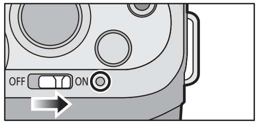
**セットアップメニューから[フォーマット]を選ぶ**(P14)

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

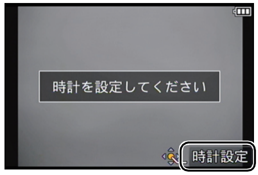
## 時計を設定する

● お買い上げ時は、時計設定されていません。

**1** 電源スイッチを[ON]にする
●電源が入ると電源表示ランプが点灯します。




**2** [時計設定]をタッチする




**3** 合わせたい項目(年・月・日・時・分)をタッチして、[⋀]/[⋁]で設定する

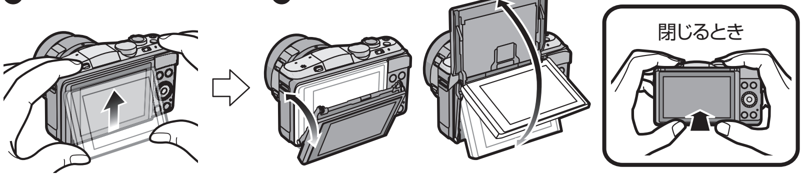
**4** [決定]をタッチして決定する

**5** 確認画面で[決定]をタッチする




## モニターの角度を調整する

❶ ❷




❶ モニター下部を軽く押し上げて開く
❷ モニターの角度を調整する

● **モニターに指などを挟まないようにお気をつけください。**
● **モニターを回転させるときは、無理な力を加えないようお気をつけください。傷や故障の原因になります。**
● 本機を使用しないときは、モニターを元の位置に完全に閉じてください。

# メニューを使って設定する

## メニューの設定方法

**1** [MENU/SET] ボタンを押す

- トップメニュー画面が表示されます。

**2** メニューアイコンをタッチする

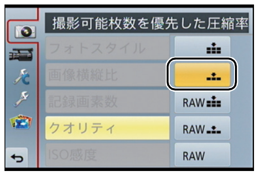



| メニュー | 内容 |
|---|---|
| [ ]　撮影(P42～) | 横縦比、画素数などをお好みで設定できます。 |
| [ ]　動画(P43～) | 記録方式や画質設定など、動画撮影時の設定ができます。 |
| [ ]　カスタム(P44～) | 画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。 |
| [ ]　セットアップ(P45～) | 時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi 機能に関する設定もできます。 |
| [ ]　再生(P46～) | 画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。 |

**3** メニュー項目をタッチする

**4** 設定内容をタッチして決定する

- メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされ方が異なるものがあります。




### ■ メニューを終了する

[ ] をタッチする、またはシャッターボタンを半押しする

### ■ 他のメニューに切り換えるには

例)撮影メニューからセットアップメニューへの切り換え

[ ] などのメニュー切り換えアイコンをタッチする

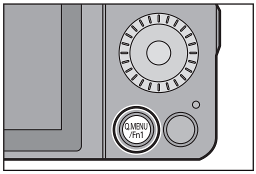


# よく使うメニューをすぐに呼び出す(クイックメニュー)

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。
● モードや表示画面によっては、設定できない項目もあります。

[Q.MENU]/[Fn1]ボタンは、[Q.MENU]と[Fn1](ファンクション1)の2とおりの使い方ができます。お買い上げ時は、[Q.MENU] が設定されています。

**1** **[Q.MENU]ボタンを押して、クイックメニューを表示する**

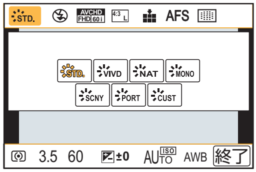



**2** **メニュー項目をタッチする**

**3** **設定内容をタッチする**

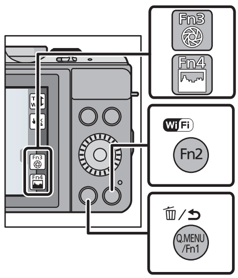
**4** **設定が終了したら[終了]をタッチしてメニューを終了する**

● シャッターボタン半押しでも終了できます。




# よく使う機能をボタンに割り当てる(ファンクションボタン)

特定のボタンやアイコンに、撮影機能などを割り当てることができます。
[Fn1]、[Fn2]はボタンを押すことで、[Fn3]、[Fn4]はアイコンをタッチすることで、割り当てた機能を使うことができます。




**1** **カスタムメニューの[Fnボタン設定]で、機能を割り当てたいファンクションボタンを選ぶ(P14)**

**2** **割り当てる機能をタッチする**

● それぞれのファンクションボタンにお好みの機能を割り当ててください。
● ファンクションボタンによっては、割り当てられない機能があります。
● 設定後はメニューを終了してください。

# 写真を撮る

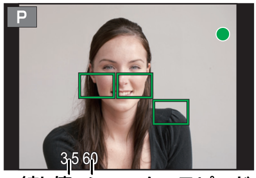
● ▼( )ボタンを押して、ドライブモードを[ ](単写)に設定する。

## 1 モードダイヤルで撮影モードを選ぶ(P20)

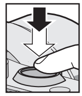
## 2 シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる

●絞り値とシャッタースピードが表示されます。(フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します)

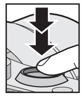
●**お買い上げ時は、[フォーカス/レリーズ優先]が[フォーカス]に設定されているため、ピントが合うまで撮影できません。**




**絞り値　シャッタースピード**



## 3 シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する

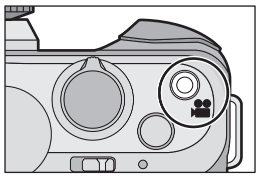


# 動画を撮る

AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4で記録される動画を撮影できます。音声はステレオで記録されます。

| 項目 | フォーマット |
|---|---|
| [AVCHD] | ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。 |
| [MP4] | パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。 |

## 1 動画ボタンを押して撮影を開始する



●動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。

●約1分以上何も操作しないと、画面上の情報が一部表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。

●動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。

## 2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

●[MP4]で1つの動画として連続記録できる時間は29分59秒まで、ファイルサイズは4 GBまでです。([MP4]の[FHD/30p]では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は29分 59秒より短くなります)

●動画撮影中にシャッターボタンを全押しすると、動画撮影中に写真撮影もできます。

**記録経過時間　記録動作表示**

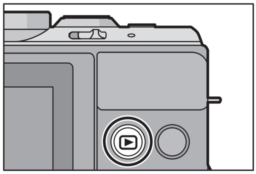



**記録可能時間**

# 再生する

## 写真を見る

**1** [▶] ボタンを押す



**2** 画面を水平にドラッグして画像を送る

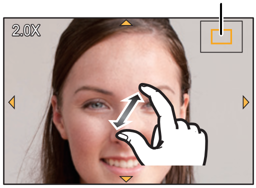
次の画像へ送る：右から左にドラッグ
前の画像に戻す：左から右にドラッグ



## 再生画面を拡大する（再生ズーム）

### 画面をピンチアウト（またはピンチイン）（P9）して、画像を拡大（または縮小）する

- 画面をドラッグ（P9）すると、拡大部分を移動することができます。
- 拡大したい部分を2回タッチしても画像を拡大（2倍）することができます。拡大時に2回タッチすると1倍に戻ります。




## 複数の画像を一覧表示する（マルチ再生）

### [▦] をタッチする

- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。
  - ·[■]：1画面　·[▦]：12画面
  - ·[▩]：30画面　·[CAL]：カレンダー再生
- 画面を上下にドラッグすると少しずつ画像を切り換えることができます。



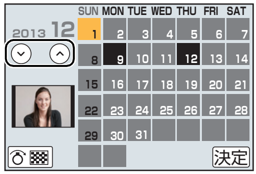
## 画像を撮影日ごとに表示する(カレンダー再生)

*1* マルチ再生画面で、[CAL]をタッチする

*2* [⋀]/[⋁]をタッチして再生したい月を選ぶ
- 撮影した画像が1枚もない月は表示されません。
- [▦]をタッチするとマルチ再生画面が表示されます。

*3* 再生したい日付を選び、[決定]をタッチする

*4* 再生したい画像をタッチする




## 動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は AVCHD、MP4 または QuickTime Motion JPEG です。

**再生状態で動画アイコン([🎥])が付いた画像を選び、画面中央の[▶]をタッチして再生する**

- 再生を開始すると、画面に再生経過時間が表示されます。



動画記録時間

### ■ 動画再生中の操作

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ▶/❚❚ | ▲ | 再生/一時停止 | ■ | ▼ | 停止 |
| ◀◀ | ◀ | 早戻し再生 | ▶▶ | ▶ | 早送り再生 |
| ◀❚❚ | ◀ | コマ戻し(一時停止中) | ❚❚▶ | ▶ | コマ送り(一時停止中) |
| − | コントロールダイヤル(左回し) | 音量下げる | + | コントロールダイヤル(右回し) | 音量上げる |

# 画像を消去する

画像は一度消去すると元に戻すことができません。

## 1枚消去

**1 再生状態で消去する画像を選び、[🗑]をタッチする**

- [🗑/↩]ボタンを押すことでも同じ操作ができます。




**2 [1枚消去]をタッチする**

- 確認画面が表示されます。
  [はい]を選ぶと消去されます。

## 複数消去(100枚※まで)/全画像消去

※グループ画像は1枚として扱います。(選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます)

**1 再生状態で[🗑]をタッチする**

**2 [複数消去]または[全画像消去]をタッチする**

- [全画像消去]→確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。
- [全画像消去]選択時、[お気に入り以外全消去]を選択すると、お気に入り設定した画像以外の全画像を消去することができます。

**3 ([複数消去]選択時)消去したい画像をタッチする**(繰り返す)

- 設定した画像に[🗑]が表示されます。
  もう一度タッチすると設定が解除されます。

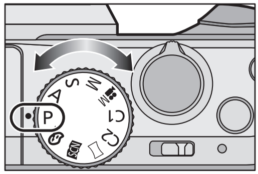



**4 ([複数消去]選択時)[実行]をタッチする**

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

# 撮影モードを選ぶ

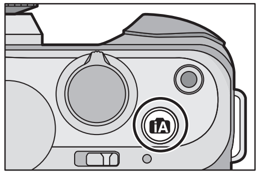
## ■ モードダイヤルで撮影モードを選ぶには




### モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。

## ■ インテリジェントオートモードを選ぶには




### [iA]ボタンを押す

- インテリジェントオートモードに切り換わると、[iA]ボタンが点灯します。
- [iA]ボタンが点灯中は、モードダイヤルで選ばれている撮影モードは無効になります。

| | |
|---|---|
| iA | **インテリジェントオートモード(P22)** |
| | カメラにおまかせで撮影します。 |
| iA+ | **インテリジェントオートプラスモード(P23)** |
| | インテリジェントオートモードで明るさと色合いを変更できます。 |
| P | **プログラム AE モード** |
| | カメラが決めた絞り値とシャッタースピードで撮影します。 |
| A | **絞り優先 AE モード** |
| | 絞り値を決めて撮影します。 |
| S | **シャッター優先AEモード** |
| | シャッタースピードを決めて撮影します。 |
| M | **マニュアル露出モード** |
| | 絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。 |
| 🎥M | **クリエイティブ動画モード** |
| | 絞り値やシャッタースピードを決めて動画を撮影します。<br>※写真撮影はできません。 |
| C1 C2 | **カスタムモード** |
| | あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。 |
| ▭ | **パノラマモード(P24)** |
| | パノラマの写真を撮影します。 |
| SCN | **シーンガイドモード(P25)** |
| | 撮影シーンに合わせて撮影します。 |
| 🎨 | **クリエイティブコントロールモード(P25)** |
| | 画像効果を確認しながら撮影します。 |

# 自分も一緒に写る（自分撮りモード）

**使えるモード：** [iA] [iA+] [P] [A] [S] [M] [C1] [C2] [SCN] [クリエイティブコントロール]

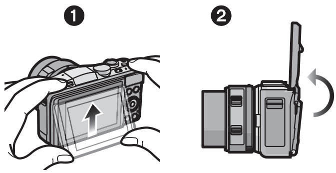
自分も一緒に写りたいときは、モニターを回転させると自分撮りモードに自動で切り換わります。

**自分撮りモードでは･･･**

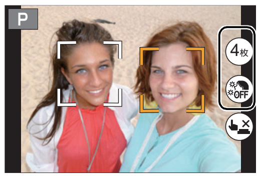
- 画面を見ながら撮影するので構図が決めやすくなります。
- 撮影枚数を増やして、ポーズや表情を変えた写真を一度に撮影できます。
- 美肌効果をかけて、人物の顔を明るく、肌色を滑らかにできます。
- 自動的にタッチ操作が可能な状態になります。
- その他の設定は各撮影モードの設定に従います。



## 1 モニターを図のように回転させる




## 2 撮影枚数と美肌効果をタッチする




| | |
|---|---|
| [4枚] | 撮影枚数 |
| [美肌効果] | 美肌効果<br>[OFF]（オフ）、[L]（弱）、[H]（強） |

- シーンガイドモードの［人物の肌をきれいに撮る］時は、美肌効果は設定できません。
- ［タッチシャッター］をタッチすると、タッチシャッター機能を使って撮影することもできます。

## 3 モニターを見ながらポーズを決める

- 顔認識機能により、顔に合わせて AF エリアが表示されます。

## 4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する



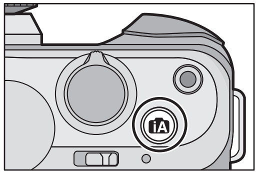

- カウントダウンが開始され、カウントが終わると撮影されます。撮影枚数を複数枚にしたときは、設定した枚数まで撮影が続きます。
- 撮影時はレンズを見てください。

# カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード)

**撮影モード：** [iA] [iA+]

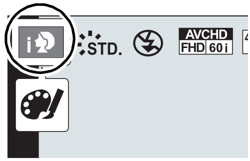
被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときにお勧めです。

## 1 [iA] ボタンを押す




- インテリジェントオートモードまたはインテリジェントオートプラスモードのどちらか最後に使用していたモードに切り換わります。お買い上げ時は、インテリジェントオートモードが設定されています。
- もう一度押すと[iA]ボタンが消灯し、モードダイヤルで選ばれている撮影モードになります。
- モードダイヤルを[動画M]に合わせているときは、動画ボタンまたはシャッターボタンを押して動画撮影を開始/終了できます。(写真は撮れません)

## 2 被写体に画面を合わせる




- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。
  判別されたシーンによっては、[ ]が表示され、カメラがおすすめする画像効果を選ぶことができます。
- 被写体をタッチすると追尾 AF 機能が働きます。カーソルボタンの ◀ を押し、シャッターボタンを半押ししても可能です。

## 背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

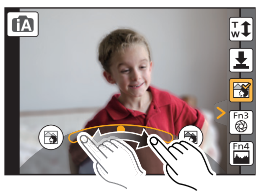
**1** [ ] をタッチする

**2** [ ] をタッチして、設定画面を表示する




**3** スライドバーをドラッグして設定する

**4** 写真または動画を撮影する

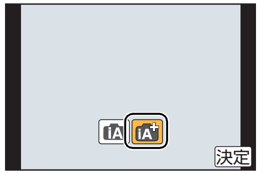



- [ ]をタッチすると、ボケ味コントロール操作を終了します。
- [ ]をタッチすることでも、写真を撮影することができます。

## 明るさや色合いを変えて撮る(インテリジェントオートプラスモード)

**撮影モード：**

インテリジェントオートモードでカメラが設定した明るさや色合いを、お好みに調整できるモードです。




**1** **インテリジェントオートモード時に[MENU/SET]ボタンを押す**

**2** **[iA モード]をタッチする**

**3** **[ ]を選び、[決定]をタッチする**

### 明るさを設定する



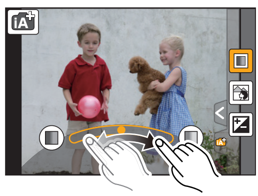
**1** **[ ]をタッチする**

**2** **[ ]をタッチして、設定画面を表示する**

**3** **スライドバーをドラッグして設定する**

- 画像の明るさを調整します。
- もう一度[ ]をタッチすると撮影画面に戻ります。

### 色合いを設定する



**1** **[ ]をタッチする**

**2** **[ ]をタッチして、設定画面を表示する**

**3** **スライドバーをドラッグして設定する**

- 画像の色合いを赤っぽい色から青っぽい色まで調整します。
- もう一度[ ]をタッチすると撮影画面に戻ります。

# パノラマ写真を撮る(パノラマモード)

**撮影モード：**

カメラを水平または垂直に動かしている間に連続撮影をして、1 枚のパノラマ写真に合成します。

## 1 モードダイヤルを[ ]に合わせる

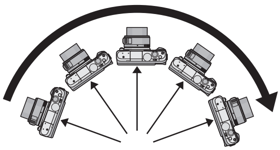
## 2 撮影方向を確認し、[開始]をタッチする

- 水平/垂直ガイドが表示されます。

## 3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

## 4 シャッターボタンを全押しし、画面上の矢印の方向へ小さな円を描くように本機を動かす

左から右へ撮影する場合





撮影の方向と進み具合(目安)

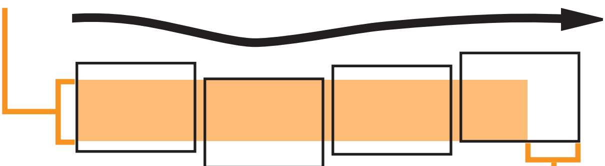
- 一定の速度で本機を動かしてください。速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。

## 5 もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了する

- 撮影中に途中でカメラの動きを止めても撮影を終了できます。
- ガイドの終わりまでカメラを動かしても撮影を終了できます。

### ■ 撮影のテクニック

- 揺らさないように気をつけながら、撮影方向へカメラを動かす。
  (揺れが大きいと撮影できなかったり、記録されるパノラマ写真が細く(小さく)なります)



- 撮影したい範囲の少し先までカメラを動かす。
  (最後の 1 コマは端まで記録されません)

# 撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード)

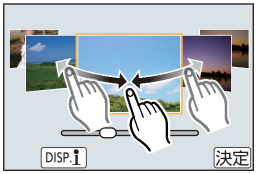
**撮影モード：** SCN

作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

### 1 モードダイヤルを [SCN] に合わせる

### 2 作例写真をドラッグしてシーンを選ぶ

- スライドバーをドラッグすることでも、シーンを選ぶことができます。




### 3 [決定]をタッチする

**もっと表現を楽しむために**

シーンを選ぶ画面で[DISP.]をタッチすると、シーンに合わせた写真表現のための説明などが表示されます。もっと写真表現を楽しみたい方には、説明を読んで撮影してみることをお勧めします。

# 画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード)

**撮影モード：**

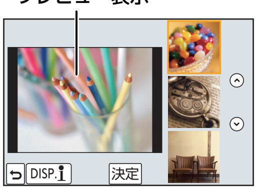
画像に効果を加えて撮影することができます。画像に加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。

### 1 モードダイヤルを [ ] に合わせる

### 2 作例写真をタッチして画像効果(フィルター)を選ぶ

- 選んだ作例写真の画像効果が、プレビュー表示に反映されます。
- [∧]/[∨]をタッチすると、画像効果を切り換えることができます。
- [DISP.]をタッチすると、選択されている画像効果の説明が表示されます。

プレビュー表示



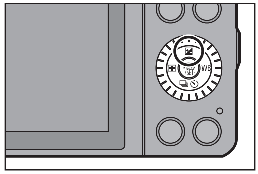

### 3 [決定]をタッチする

# 露出を補正して撮る

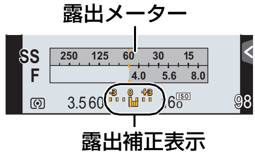
使えるモード：P A S 🎥M C1 C2 SCN

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

**1** ▲(☒)ボタンを押して露出補正操作に切り換える



**2** コントロールダイヤルを回して、露出を補正する




露出アンダー　　適正露出　　露出オーバー



露出をプラス方向に補正してください。

露出をマイナス方向に補正してください。

- 露出を補正しない場合は、"0"を選んでください。
- コントロールダイヤルを回すと、[露出メーター]が表示されます。

# ISO感度を設定する

使えるモード：P A S M 🎥M C1 C2 ▭

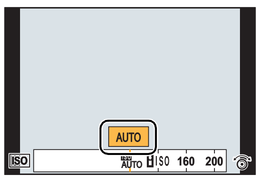
光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

**1** 撮影メニューから[ISO 感度]を選ぶ(P14)

**2** コントロールダイヤルを回してISO感度を選ぶ

**3** [MENU/SET]ボタンを押して決定する

- 設定後はメニューを終了してください。

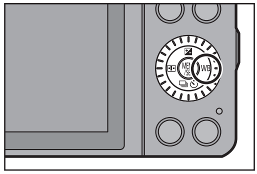


# ホワイトバランスを調整する

**使えるモード：** iA iA+ P A S M 🎥M C1 C2 SCN

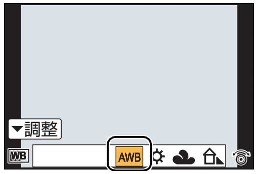
太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

**1** ▶（WB）ボタンを押す



**2** コントロールダイヤルを回してホワイトバランスを選ぶ

**3** [MENU/SET] ボタンを押して決定する



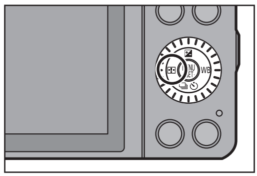

# 自動でピントを合わせて撮る（オートフォーカス）

**使えるモード：** iA iA+ P A S M 🎥M C1 C2 SCN

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

**1** [フォーカスモード] を [AFS]、[AFF] または [AFC] に設定する（P28）

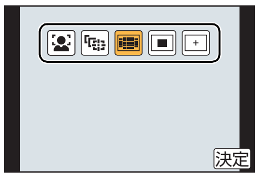
**2** ◀（⊡）ボタンを押す



**3** オートフォーカスモードをタッチする

- [顔]、[▦]、[▪]、[+] を選択時に ▼ ボタンを押すと、AF エリア設定画面が表示されます。

**4** [決定] をタッチする

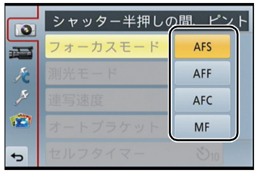


## フォーカスモードについて(AFS、AFF、AFC)

使えるモード：iA iA+ P A S M 🎥M C1 C2 ▭ SCN 🎨

**1** 撮影メニューから[フォーカスモード]を選ぶ(P14)

**2** 設定したい項目をタッチする




- 被写体の動き、撮影シーンに合わせて、フォーカスモードを選んでください。

| | |
|---|---|
| AFS | 静止している(風景、記念撮影など) |
| AFF | 動きが予測できない(子ども、ペットなど) |
| AFC | 動いている(スポーツ、鉄道など) |
| MF | 手動でピントを合わせます |

# 露出やピントを固定して撮る(AF/AEロック)

使えるモード：iA iA+ P A S M 🎥M C1 C2 ▭ SCN 🎨

被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合(AEロック)や、被写体がAFエリアから外れた構図で撮りたい場合(AFロック)などに便利です。

**1** カスタムメニューの[Fn ボタン設定]を[AF/AE LOCK]に設定する(P15)

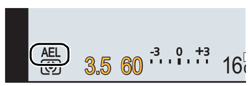
- [AF/AE ロック]は[Fn3]、[Fn4]に割り当てることはできません。
- 次の手順は、[Fn1]ボタンに[AF/AE LOCK]を設定した場合の例です。

**2** 被写体に画面を合わせる

**3** [Fn1]を押し、ピントや露出を固定する

- もう一度[Fn1]を押すと、ロックは解除されます。
- お買い上げ時は、露出のみが固定されます。

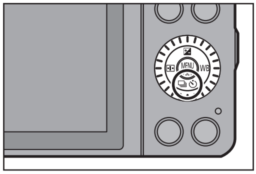
**4** 撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする




- [AE LOCK]設定時は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。

# 単写/連写/オートブラケット/セルフタイマーを選ぶ(ドライブモード)

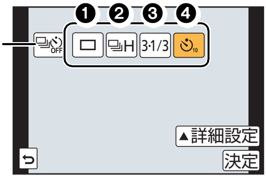
使えるモード：iA iA+ P A S M C1 C2 SCN
ドライブモードを選ぶことで、連写やセルフタイマーなど、シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。




## 1 ▼(⊒ၥ)ボタンを押す

## 2 ドライブモードを選ぶ

**タッチするとドライブモードは解除され、単写に切り換わります。**




| ドライブモード | 内容 |
|---|---|
| ❶ **単写** | シャッターボタンを押すと1枚だけ撮影します。 |
| ❷ **連写** | シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。 |
| ❸ **オートブラケット** | シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら撮影します。 |
| ❹ **セルフタイマー** | シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。 |

●[詳細設定]をタッチすると、それぞれのドライブモードの設定を変更できます。

## 3 [決定]をタッチする

# 不要な部分を消去する

撮影した写真に写り込んだ不要な部分を消去することができます。
●消去操作はタッチでのみ行えます。[クリアレタッチ]では自動的にタッチ操作が可能な状態になります。

**1 再生メニューから[クリアレタッチ]を選ぶ(P14)**
**2 画面を水平にドラッグして写真を選び、[決定]をタッチする**
**3 消去したい部分をなぞる**
●消去される部分に色が付きます。
●[元に戻す]をタッチすると、色が付いた部分が元に戻ります。




**4 [決定]をタッチする**
●プレビュー画面が表示されます。
**5 [保存]をタッチする**
●確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
実行後はメニューを終了してください。

# Wi-Fi® 機能でできること

| できること |
|---|

## スマートフォンと繋いで使う

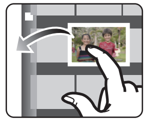


スマートフォンで撮影する

カメラの画像を保存する

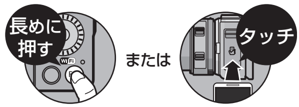
画像をSNSへ送信する

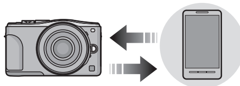


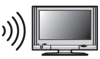


**かんたん接続、かんたん転送**

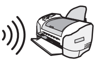
[Wi-Fi] ボタンを長めに押したり、NFC 機能を使ったりすることで、簡単に接続ができます。画像の転送も簡単にできます。





## テレビに写真を映す



## プリンターに画像を送る



## AV 機器に画像を送る

写真や動画を家の中にある AV 機器(宅内 AV 機器)に送れます。離れて暮らす家族や友人の AV 機器(宅外 AV 機器)にも、LUMIX CLUB(PicMate)を経由することで送れます。



## パソコンに画像を送る




## Web サービスを利用する

LUMIX CLUB(PicMate)を経由することで、写真や動画をSNSなどに送れます。クラウド同期サービスへ写真や動画を自動転送する設定をすることで、パソコンやスマートフォンで、転送された写真や動画を受信できます。

- 詳しい操作説明は、「取扱説明書 詳細操作編」(PDF ファイル)をお読みください。

# スマートフォン/タブレットと繋いで使う

スマートフォン /タブレットを使って、離れた場所からカメラを操作できます。
お使いのスマートフォン/タブレットに「Panasonic Image App」(以降では「Image App」と表記)をインストールする必要があります。



## スマートフォン/タブレットアプリ「Panasonic Image App」をインストールする

「Image App」はパナソニック株式会社が提供するアプリケーションです。

| | Android™ 向けアプリ | iOS 向けアプリ |
|---|---|---|
| バージョン | 1.5 (2013 年 3 月現在) | |
| 対応 OS | Android 2.2 ～ Android 4.2※ | iOS 4.3 ～ iOS 6.1 |
| インストール手順 | **1** Android 端末をネットワークに接続する<br>**2** 「Google Play™ ストア」を選ぶ<br>**3** 検索フィールドに「Panasonic Image App」と入力する<br>**4** 「Panasonic Image App」を選び、インストールする<br>● メニューにアイコンが追加されます。 | **1** iOS端末をネットワークに接続する<br>**2** 「App Store℠」を選ぶ<br>**3** 検索フィールドに「Panasonic Image App」と入力する<br>**4** 「Panasonic Image App」を選び、インストールする<br>● メニューにアイコンが追加されます。 |

● お使いのスマートフォン/タブレットによっては、正しく動作しない場合があります。
Image App の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/

● 3G等の携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

※ [Wi-Fi Direct]で本機と接続するには、Android OS 4.0 以上で Wi-Fi Direct™に対応している必要があります。

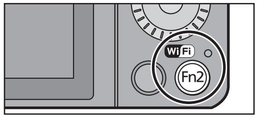
## スマートフォン/タブレットと接続する

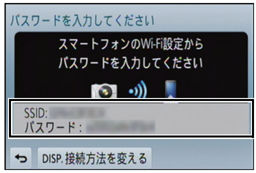
[Wi-Fi]ボタンを長めに押したり、NFC 機能を使ったりすることで、簡単に接続ができます。

準備：

- 「Image App」をインストールしておく（P31）

**1** **[Wi-Fi] ボタンを長めに押す**




- スマートフォン/タブレットを本機に直接接続するために必要な情報（SSID、パスワード）が表示されます。
- 初めての接続以外では、前に接続したときの画面が表示されます。
- 以下のメニューを選ぶことで、同じ画面を表示できます。

| Wi-Fi ボタン→[新規に接続する]→[スマートフォンと繋いで使う] |
|---|

- 接続方法を切り替えたい場合は、[DISP.]ボタンを押して、接続方法を選んでください。接続方法について詳しくは35 ページの「接続方法を変える」をお読みください。

**2** **スマートフォン/タブレットを操作する**

❶ Wi-Fi機能をONにする
❷ 本機の画面に表示されているSSIDと同じものを選び、パスワードを入力する
❸ 「Image App」を起動する（P31）
- 接続が完了すると、スマートフォン/タブレットの画面に本機の画像が表示されます。

## NFC機能を使って、スマートフォン/タブレットと接続する

NFC（Near Field Communication：近距離無線通信）機能を使用して、本機とスマートフォン/タブレットとの間で Wi-Fi 接続に必要な情報を簡単に受け渡しすることができます。

### ■ 対応機種について

本機能は、Android（OS バージョン 2.3.3 以上）で、おサイフケータイ® FeliCa、またはNFCに対応する端末でお使いいただけます。（一部機種を除く）
- 初めてスマートフォンのおサイフケータイ®機能をご利用される場合は、事前に初期設定が必要です。

準備：

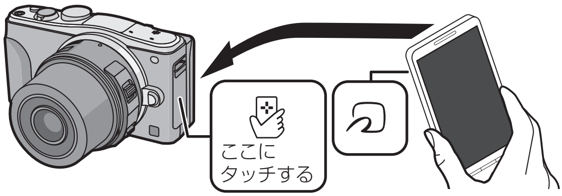
| （カメラ側） | （スマートフォン/タブレット側） |
|---|---|
| ● セットアップメニューから[Wi-Fi]→[Wi-Fi設定]→[NFC 動作]を選び、[ON]に設定する | ● スマートフォン/タブレットが対応機種であるか確認する<br>● Wi-Fi機能をONにする<br>● 「Image App」をインストールしておく（P31） |

**1** **お使いのスマートフォン/タブレットで「Image App」を起動する**

- 起動後に接続先を選択する画面が表示されます。

**2**　**「Image App」の接続画面に [ ] が表示されている状態で、本機の [ ] にスマートフォン/タブレットの [ ] をタッチする**

- 接続完了までに時間がかかる場合があります。
- 接続が完了すると、スマートフォン/タブレットの画面に本機の映像が表示されます。
- タッチしても接続できない場合は、「Image App」を起動し直して、もう一度、手順 ***1*** の画面を表示してください。
- 1 枚再生時に接続すると、スマートフォン/タブレットに画像が転送されます。(P34)

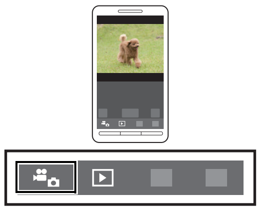



> **初めて接続する場合、接続確認画面が表示されます**
>
> ***1***　**本機に接続確認画面が表示されたら [はい] を選ぶ**
>
> ***2***　**再度、本機の [ ] にスマートフォン/タブレットの [ ] をタッチする**
>
> - 接続されたスマートフォン/タブレットは本機に登録されます。

## スマートフォン/タブレットで撮影する ( リモート撮影 )

***1***　**スマートフォン/タブレットと接続する(P32)**

***2***　**スマートフォン/タブレットの [ ] を選ぶ**



- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 動画も撮影できます。
- 設定など一部利用できないものがあります。
- 本機がパノラマモード時、リモート撮影できません。
- ご使用になるOSにより、画面が異なる場合があります。

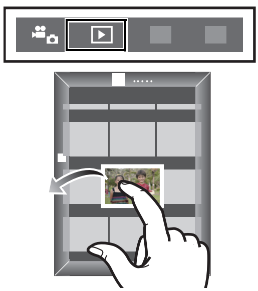
## カメラの画像を保存する /SNSへ送信する

***1***　**スマートフォン/タブレットと接続する(P32)**

***2***　**スマートフォン/タブレットの [ ] を選ぶ**

***3***　**画像をドラッグする**

- 保存されたり、SNSなどに送信されたりします。
- お好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。
- 画像をタッチした場合は、画像が大きく再生されます。
（動画の再生はできません）



## NFCで簡単にカメラの画像を転送/保存する

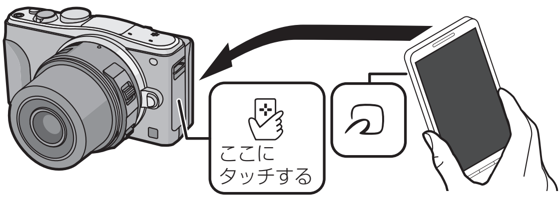
NFC機能を使って、本機の画像をスマートフォン/タブレットに転送することができます。撮ったその場で画像を転送できるので、ご家族やご友人のスマートフォン/タブレット※にも簡単に転送できます。
※ご利用には、「Image App」をインストールする必要があります。

| 準備: | |
|---|---|
| （カメラ側）<br>● セットアップメニューから[Wi-Fi]→[Wi-Fi設定]→[NFC 動作]を選び、[ON]に設定する<br>● セットアップメニューから[Wi-Fi]→[Wi-Fi設定]→[タッチシェアリング]を選び、[ON]に設定する | （スマートフォン/タブレット側）<br>● スマートフォン/タブレットが対応機種であるか確認する<br>● Wi-Fi機能をONにする<br>● 「Image App」をインストールしておく（P31） |

**1** **スマートフォン/タブレットに転送したい画像を本機で再生する**

**2** **転送先のスマートフォン/タブレットで「Image App」を起動する**
- 起動後に接続先を選択する画面が表示されます。

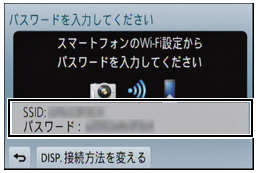
**3** **「Image App」の接続画面に[ ]が表示されている状態で、本機の[ ]にスマートフォン/タブレットの[ ]をタッチする**
- 接続完了までに時間がかかる場合があります。
- タッチしても接続できない場合は、「Image App」を起動し直して、もう一度、手順 **2** の画面を表示してください。
- 複数の画像を転送する場合は、手順**1**、**3**を繰り返してください。（一括で転送することはできません）




- 使用環境によっては、画像の転送完了までに数分かかる場合があります。

## 接続方法を変える

接続方法を切り替えたい場合は、[DISP.] ボタンを押して、接続方法を選んでください。

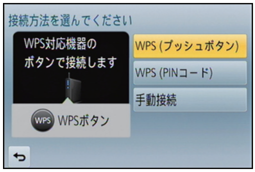


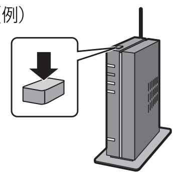

| 接続方法 | 設定内容 | |
|---|---|---|
| [ ネットワーク経由 ] | 無線アクセスポイントを経由して接続します。 | 下記 |
| [ 直接接続 ] | お使いのスマートフォン/タブレットが本機に直接接続します。 | P37 |

## ネットワーク経由

無線アクセスポイントとの接続方法を選びます。

※ WPSとは、無線LAN機器の接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いの無線アクセスポイントが対応しているかどうかは、無線アクセスポイントの説明書をご覧ください。




| 接続方法 | 設定内容 |
|---|---|
| [WPS (プッシュボタン)] | WPSマークがあり、プッシュボタン方式 Wi-Fi Protected Setup™ 対応の無線アクセスポイントを登録します。<br>**無線アクセスポイントがWPSモードになるまで、無線アクセスポイントのWPSボタンを押す**<br>● 詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。<br>（例）<br> |
| [WPS（PINコード）] | WPSマークがあり、PINコード方式のWi-Fi Protected Setup対応の無線アクセスポイントを登録します。<br>**1 接続する無線アクセスポイントを選ぶ**<br>**2 本機の画面に表示されているPINコードを無線アクセスポイントに入力する**<br>**3 [MENU/SET] ボタンを押す**<br>● 詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。 |
| [手動接続] | WPSに対応しているかわからない場合や、無線アクセスポイントを検索して接続したい場合に選択します。<br>● 詳しくは 36 ページをお読みください。 |

## WPS に対応しているかわからない場合（[手動接続]で接続する）

利用できる無線アクセスポイントを検索します。

- 選択した無線アクセスポイントにネットワーク認証が暗号化されている場合は、選択した無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。
- [マニュアル入力]で接続する場合は、お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

**1 接続する無線アクセスポイントを選ぶ**

- [DISP.]ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
- 無線アクセスポイントが見つからない場合は下記の「[マニュアル入力]で接続する場合」をお読みください。




**2 （ネットワーク認証が暗号化されている場合）暗号化キーを入力する**

### ■ [マニュアル入力]で接続する場合

**1 「WPS に対応しているかわからない場合（[手動接続]で接続する）」の手順 1 の画面で、[マニュアル入力]を選ぶ**

**2 接続する無線アクセスポイントのSSIDを入力して[決定]を選ぶ**

**3 ネットワークの認証方式を選ぶ**

- ネットワークの認証方式については、無線アクセスポイントの説明書をお読みください。

**4 暗号化方式を選ぶ**

- ネットワーク認証の設定内容によって、設定できる方式が異なります。

| ネットワーク認証方式 | 設定できる暗号化方式 |
|---|---|
| [WPA2-PSK]/[WPA-PSK] | [TKIP]/[AES] |
| [共通キー] | [WEP] |
| [オープン] | [暗号化なし]/[WEP] |

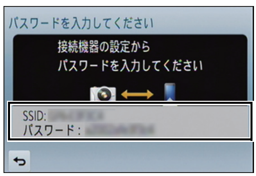
**5 （[暗号化なし]以外選択時）暗号化キーを入力する**

- 無線アクセスポイントを登録する場合は、無線アクセスポイントの説明書や設定をご確認ください。
- 接続できないときは、無線アクセスポイントの電波が弱いと考えられます。お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

## 直接接続

お使いのスマートフォン/タブレットとの接続方法を選択できます。
お使いのスマートフォン/タブレットが対応している接続方法を選んでください。




| 接続方法 | 設定内容 |
|---|---|
| [Wi-Fi Direct] | **1** **スマートフォン/タブレットを Wi-Fi Direct™ モードにする**<br>**2** **[Wi-Fi Direct] を選ぶ**<br>**3** **接続するスマートフォン/タブレットを選ぶ**<br>● 詳しくは、お使いのスマートフォン/タブレットの取扱説明書をお読みください。 |
| [WPS 接続] | [WPS（プッシュボタン）]<br>**1** **[WPS（プッシュボタン）] を選ぶ**<br>**2** **スマートフォン/タブレットを WPS モードにする**<br>● 本機の[DISP.]ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。 |
| | [WPS（PIN コード）]<br>**1** **[WPS（PIN コード）] を選ぶ**<br>**2** **スマートフォン/タブレットの PIN コードを本機に入力する** |
| [手動接続] | **スマートフォン/タブレットとの接続待ちの画面で本機に表示されている、SSIDとパスワードをスマートフォン/タブレットに入力する**   |

# 付属のソフトウェアを使う

付属のCD-ROMには、以下のソフトウェアが収録されています。
パソコンにインストールしてお使いください。

**PHOTOfunSTUDIO 9.2 AE (Windows XP/Vista/7/8)**

写真や動画をパソコンに取り込んだり、撮影日や機種名などで分類して整理するなど、画像を管理することができるソフトウェアです。さらに、DVD への画像の書き込みや、画像補正、動画の編集などもできます。

**SILKYPIX Developer Studio**
**(Windows XP/Vista/7/8、Mac OS X v10.4/v10.5/v10.6/v10.7/v10.8)**

RAWファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFF など)で保存できます。

**SILKYPIX Developer Studio の使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトラボラトリーのサポートサイト**
**http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/support/**
**をご覧ください。**

**LoiLoScope -30日間フル体験版(Windows XP/Vista/7/8)**

LoiLoScope は、お手持ちのパソコンをフル活用する、簡単に動画編集できるソフトウエアです。今までになかった机の上でカードを並べるようにして作るアナログ操作は、覚えることなく初めてでも思いのままに操作し、DVD、Webサイト、メール等々を使い、素早く動画や写真を友達に届けることができます。

- インストールされるのは、体験版ダウンロードサイトへのショートカットのみになります。

**LoiLoScope の詳しい使い方は、以下のサイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。**
**使い方 Web サイト:http://loilo.tv/product/20**

## ■ ソフトウェアをインストールする

●CD-ROMを入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。

**1　お使いのパソコンの環境を確認する**

**●「PHOTOfunSTUDIO 9.2 AE」の動作環境**

| | | |
|---|---|---|
| 対応OS | Windows® XP(32 bit) SP3<br>Windows Vista®(32 bit) SP2<br>Windows® 7(32 bit/64 bit) および SP1<br>Windows® 8(32 bit/64 bit) | |
| CPU | Windows® XP | Pentium® Ⅲ 500 MHz以上 |
| | Windows Vista® | Pentium® Ⅲ 800 MHz以上 |
| | Windows® 7 | Pentium® Ⅲ 1 GHz以上 |
| | Windows® 8 | |
| ディスプレイ | 1024×768以上(1920×1080 以上を推奨) | |
| 搭載メモリ | Windows® XP | 512 MB以上 |
| | Windows Vista® | |
| | Windows® 7 | 1 GB以上(32 bit)<br>2 GB以上(64 bit) |
| | Windows® 8 | |
| ハードディスク | インストールに450 MB以上の空き容量 | |

その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDF)をお読みください。

●「SILKYPIX Developer Studio 3.1 SE」の動作環境は、38 ページのサポートサイトをお読みください。

**2　CD-ROMを入れる**

●インストールメニューが起動します。

**3　[ アプリケーション ] をクリックする**

**4　[おまかせインストール] をクリックする**

●画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。

●お使いのパソコンに対応したソフトウェアのみがインストールされます。
●Mac では、SILKYPIX を手動でインストールすることができます。
❶ CD-ROM を入れる
❷ CD-ROM の「Application」フォルダーをダブルクリックする
❸ 自動で表示されるフォルダーをダブルクリックする
❹ フォルダー内にあるアイコンをダブルクリックする

**こんなときは使えません**

●「PHOTOfunSTUDIO」および「LoiLoScope」はMacでは使えません。

# 別売品のご紹介

| 品名 | 品番 |
| --- | --- |
| バッテリーパック | DMW-BLG10 |
| バッテリーチャージャー※1 | DMW-BTC9 |
| ACアダプター※2 | DMW-AC8 |
| DCカプラー※2 | DMW-DCC11 |
| フラッシュライト※3 | DMW-FL360L |
| MCプロテクター | DMW-LMCH37※4、DMW-LMC46※5、DMW-LMC52※6 |
| NDフィルター | DMW-LND37※4、DMW-LND46※5、DMW-LND52※6 |
| PLフィルター(サーキュラータイプ) | DMW-LPL37※4、DMW-LPL46※5、DMW-LPL52※6 |
| ズームアシストレバー | DMW-ZL1※6 |
| レンズキャップ | DMW-LFC37※4、DMW-LFC46※5、DMW-LFC52※6 |
| レンズリアキャップ | DMW-LRC1 |
| ボディキャップ | DMW-BDC1 |
| 三脚アダプター※7 | DMW-TA1 |
| 本革バッグ | DMW-BAL1 |
| ソフトバッグ | DMW-BAG1、DMW-BAG2、DMW-BALA1 |
| ソフトケース | DMW-CG3※4、DMW-CG4※4、DMW-CG5※4、5 |
| ボディケース･ストラップキット | DMW-BCSK3 |
| ショルダーストラップ | DMW-SSTL1、DMW-SSTG1、DMW-SSTG2、DMW-SSTG3、DMW-SSTG5 |
| ロングショルダーストラップ※8 | DMW-SSTG6、DMW-SSTG7、DMW-SSTG8、DMW-STLA1 |
| ハンドストラップ | DMW-HSTG1 |
| USB接続ケーブル | DMW-USBC1 |
| AV ケーブル | DMW-AVC1 |
| HDMIミニケーブル | RP-CHEM15A、RP-CHEM20A、RP-CHEM30A |

※1　海外用変換プラグ(C タイプ)付き
※2　DCカプラーとACアダプターは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。
※3　本機に取り付けて使うことはできません。ワイヤレスフラッシュとして使えます。
※4　交換レンズ(H-PS14042)装着時
※5　交換レンズ(H-FS1442A)装着時
※6　交換レンズ(H-FS45150)装着時
※7　取り付けたレンズが三脚の台座に接触する場合にお使いください。
※8　斜め掛けに適したロングタイプのショルダーストラップです。

| 品名 | 品番 |
|---|---|
| ワイドコンバージョンレンズ(0.79 ×) | DMW-GWC1※ |
| マクロコンバージョンレンズ | DMW-GMC1※ |
| フィッシュアイコンバージョンレンズ | DMW-GFC1※ |
| コンバージョンレンズキット | DMW-GCK1※ |
| テレコンバージョンレンズ(2.0 ×) | DMW-GTC1※ |
| 交換レンズ | ·H-PS45175 ·H-PS14042 ·H-VS014140 ·H-HS35100 ·H-HS12035 ·H-FS45150 ·H-FS100300 ·H-FS045200 ·H-FS1442A ·H-FS014045 ·H-F007014 ·H-F008 ·H-ES045 ·H-X025 ·H-H020 ·H-H014 |
| 3D交換レンズ | H-FT012 |
| マウントアダプター | DMW-MA1(フォーサーズマウント用) |
| ライカレンズ用マウントアダプター | DMW-MA2M(ライカMマウント用)<br>DMW-MA3R(ライカRマウント用) |

※ 交換レンズ(H-PS14042)装着時

- 別売品の最新情報は、カタログ/ホームページなどをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/dsc/

記載の品番は2013年3月現在のものです。変更されることがあります。

CLUB Panasonic
Pana Sense

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

# メニュー一覧

## 撮影

画像横縦比、記録画素数などをお好みで設定できます。

● [フォトスタイル]、[ISO感度]、[フォーカスモード]、[測光モード]、[iDレンジコントロール]、[超解像]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

| | |
|---|---|
| フォトスタイル | 撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。 |
| 画像横縦比 | 画像の横縦比を設定します。 |
| 記録画素数 | 記録画素数を設定します。 |
| クオリティ | 画像を保存するときの圧縮率を設定します。 |
| ISO感度 | 光に対する感度（ISO 感度）を設定できます。 |
| フォーカスモード | ピントの合わせ方を設定します。 |
| 測光モード | 明るさを測る測光方式を設定します。 |
| 連写速度 | 連写時の連写速度を設定します。 |
| オートブラケット | オートブラケット撮影時の単写/連写設定、補正幅、撮影順序を設定します。 |
| セルフタイマー | セルフタイマー撮影時の撮影までの時間などを設定します。 |
| iD レンジコントロール | コントラストや露出を補正します。 |
| 超解像 | より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影します。 |
| HDR | 露出の異なる写真を3枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。 |
| コマ撮りアニメ | 写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。 |
| パノラマ設定 | パノラマ撮影の撮影方向と画像効果を設定します。 |
| フラッシュ設定 | 撮影内容に合わせて、フラッシュの設定を行います。 |
| デジタル赤目補正 | フラッシュ発光での赤目を自動的に検出し、画像データを修正します。 |
| ISO感度上限設定 | ISO感度が [AUTO] または[iISO]のときに、選択した数値を上限として最適な ISO 感度を設定します。 |
| ISO感度ステップ | ISO感度の設定を 1/3 EVごと、または 1 EV ごとの設定値に変更します。 |
| 拡張 ISO 感度 | ISO 感度が最大[ISO25600]まで設定できるようになります。 |
| 長秒ノイズ除去 | シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを取り除きます。 |
| シェーディング補正 | レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正します。 |

| | |
|---|---|
| EX テレコン(写真) | 記録画素数を[L] 以外に設定すると、画質を劣化させずに望遠効果を高めます。 |
| デジタルズーム | 望遠効果を高めます。拡大するほど画質は劣化します。 |
| 色空間 | 撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。 |
| 手ブレ補正 | 撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正します。 |
| 個人認証 | 登録した顔に自動で優先的にピントや露出を合わせます。 |
| プロフィール設定 | あらかじめ赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢/年齢を画像に記録することができます。 |
| おすすめフィルター | インテリジェントオート( iA または iA+ )モード時に、カメラがおすすめする画像効果(フィルター)を表示するかしないかを設定します。 |

## 動画

記録方式や画質設定など、動画撮影時の設定ができます。

- [フォトスタイル]、[ISO感度]、[フォーカスモード]、[測光モード]、[iDレンジコントロール]、[超解像]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。
  – 詳しくは、撮影メニューの同じ項目をお読みください。

| | |
|---|---|
| 記録方式 | 記録する動画のファイル形式(AVCHD、MP4)を設定します。 |
| 画質設定 | 記録する動画の画質(サイズ、フレームレートなど)を設定します。 |
| 動画露出設定 | クリエイティブ動画モード時の絞り値、シャッタースピードの設定方法を選びます。 |
| 写真撮影 | 動画撮影中の写真の記録方法を設定します。 |
| AF 連続動作 | ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。 |
| EX テレコン(動画) | 望遠効果を高めます。 |
| フリッカー軽減 | 動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。 |
| タッチ静音操作 | タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。 |
| マイクレベル表示 | マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。 |
| マイクレベル設定 | 音声入力のレベルを 4 段階に調整します。 |
| 風音低減 | 音声記録時に風雑音がある場合は、それを自動的に判別して記録しにくくします。 |

## カスタム

画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。

| | |
|---|---|
| **カスタムセット登録** | 現在のカメラの設定をカスタムセットとして登録します。 |
| **AF/AEロック切換** | AF/AE ロック を行ったときに、ピントや露出の固定内容を設定します。 |
| **クイックAF** | シャッターボタンを押した際のピント合わせを速くします。 |
| **ピンポイントAF時間** | オートフォーカスモードを[⊞]に設定時、シャッターボタンを半押ししたときに画面表示が拡大される時間を設定します。 |
| **AF補助光** | 暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。 |
| **フォーカス/レリーズ優先** | ピントが合っていない場合は撮影できないように設定します。 |
| **AF+MF** | 自動でピントを合わせたあと、手動でピントを合わせることができます。 |
| **MFアシスト** | MFアシスト（拡大画面）の表示方法を設定します。 |
| **MFガイド** | 手動でピントを合わせると、ピントを合わせる方向を確認できる MFガイドを画面に表示します。 |
| **ヒストグラム表示** | ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。 |
| **ガイドライン表示** | 撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。 |
| **ハイライト表示** | オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。 |
| **露出メーター** | 露出メーターを表示するかしないかを設定します。 |
| **ダイヤル操作ガイド** | ダイヤル操作ガイドを表示するかしないかを設定します。 |
| **記録枠表示** | 動画撮影時の画角と写真撮影時の画角を切り換えます。 |
| **残枚数/残時間切換** | 記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。 |
| **オートレビュー** | 写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。 |
| **Fn（ファンクション）ボタン設定** | ファンクションボタンに、撮影機能などを割り当てます。 |
| **ファンクションレバー** | ファンクションレバーに割り当てる機能を設定します。 |
| **Q.MENU** | クイックメニューの設定方法を切り換えます。 |
| **iA ボタン切換** | インテリジェントオート（iA または iA+）モードに切り換えるときの[iA]ボタンの操作方法を設定します。 |
| **動画ボタン** | 動画ボタン動作の有効、無効を設定します。 |
| **パワーズームレンズ** | パワーズーム（電動式ズーム）対応交換レンズ使用時の画面の表示やレンズの動作を設定します。 |

| | |
|---|---|
| **自分撮り** | モニターを回転させて自分撮りモードにする、しないを設定します。 |
| **セルフタイマー自動解除** | 電源スイッチを[OFF]にしたときに、セルフタイマーを解除する、しないを設定します。 |
| **タッチ設定** | タッチ操作の有効、無効を設定します。 |
| **タッチ再生送り速度** | タッチ操作で画像を連続して送るときの画像送りの速さを設定します。 |
| **メニューガイド** | モードダイヤルを SCN / に切り換えたときに表示される画面を設定します。 |
| **レンズ無しレリーズ** | 本体にレンズを取り付けていないときに、シャッターが切れるようにするか、切れないようにするかを設定します。 |

## セットアップ

時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi機能に関する設定もできます。

| | |
|---|---|
| **時計設定** | 日付や時刻を変更するときに設定します。 |
| **ワールドタイム** | お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。 |
| **トラベル日付** | 旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。 |
| **Wi-Fi** | Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。 |
| **電子音** | 電子音や電子シャッター音の音量を設定します。 |
| **スピーカー音量** | スピーカーの音量を7段階に調整します。 |
| **モニター調整** | モニターの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。 |
| **モニター輝度** | 周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。 |
| **エコモード** | 本機の電力消費を抑えたり、バッテリーの消耗を防ぎます。 |
| **USBモード** | USB接続ケーブル(付属)接続時の通信方式を設定します。 |
| **映像出力** | テレビなどとの接続のしかたを設定します。 |
| **ビエラリンク** | ビエラリンク対応機器と自動的に連動させます。 |
| **3D テレビ出力** | 3D画像の出力方法を設定します。 |
| **メニュー位置メモリー** | 最後に操作したメニュー項目の選択位置を、メニューの種類ごとに記憶します。 |
| **メニュー背景色** | メニュー画面の背景色を設定します。 |
| **メニューインフォメーション** | メニュー画面にメニュー項目/設定内容の説明文を表示します。 |
| **バージョン表示** | 本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。 |
| **番号リセット** | 画像のファイル番号を0001に戻します。 |
| **設定リセット** | 設定をお買い上げ時の状態に戻します。 |

| | |
|---|---|
| **Wi-Fi 設定リセット** | Wi-Fi メニューで設定したすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。([PicMate 設定]は除く) |
| **ピクセルリフレッシュ** | 撮像素子と画像処理の最適化を行います。 |
| **センサークリーニング** | 撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。 |
| **フォーマット** | カードをフォーマット(初期化)します。 |

## 再生

画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

| | |
|---|---|
| **2D/3D 切換** | 3D 画像の再生方法を切り換えます。 |
| **スライドショー** | 画像の種類などを選んで、順番に再生します。 |
| **再生モード** | 再生する画像の種類などを選び、特定の画像のみを再生します。 |
| **位置情報記録** | スマートフォン/タブレットで取得した位置情報(緯度·経度)を本機に送信して、画像に位置情報を書き込むことができます。 |
| **クリアレタッチ** | 撮影した写真に写り込んだ不要な部分を消去することができます。 |
| **タイトル入力** | 撮影した画像に文字(コメント)を入力します。 |
| **文字焼き込み** | 撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込みます。 |
| **動画分割** | 撮影した動画を 2 つに分割します。 |
| **コマ撮りアニメ作成** | コマ撮りグループから動画を作成します。 |
| **リサイズ(縮小)** | 画像のサイズ(記録画素数)を小さくします。 |
| **トリミング(切抜き)** | 撮影した写真の必要な部分を切り抜きます。 |
| **画像回転** | 画像を手動で 90°ずつ回転させます。 |
| **縦位置自動回転** | 本機を縦に構えて撮影した写真を縦向きに表示させることができます。 |
| **お気に入り** | 画像にマークを付け、お気に入り画像として設定します。 |
| **プリント設定** | プリントする画像や枚数などを設定します。 |
| **プロテクト** | 画像を誤って消去することがないように保護します。 |
| **認証情報編集** | 個人認証に関する情報の解除や入れ換えをします。 |
| **消去確認画面** | 画像消去時に表示される確認画面の選択肢[はい]/[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定します。 |

－このマークがある場合は－

**ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報**

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- G MICRO SYSTEMは、マイクロフォーサーズシステム規格に準拠したLUMIXのレンズ交換式デジタルカメラシステムです。
- マイクロフォーサーズTM 及びマイクロフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング（株）の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- フォーサーズTM 及びフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング（株）の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI ControlTM は商標です。
- Adobeは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。

- “Wi-Fi CERTIFIED”ロゴは、“Wi-Fi Alliance”の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup のマークは、“Wi-Fi Alliance”の商標です。
- “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“Wi-Fi Direct”、“WPA”、“WPA2” は “Wi-Fi Alliance” の商標または登録商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- おサイフケータイ®は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。
  DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
- AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合
  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1) パナソニック株式会社(パナソニック)が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
(3) オープンソースソフトウェア
上記(3)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。
詳細は、[MENU/SET] → [セットアップ] → [バージョン表示] → [ソフト情報] で表示されるライセンス条件をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル(別売:DMW-USBC1)以外は使用しないでください。
- 当社製 AV ケーブル(別売:DMW-AVC1)をお使いください。
- 当社製 HDMI ミニケーブル(別売:RP-CHEM15A、RP-CHEM20A、RP-CHEM30A)をお使いください。
- ケーブルは延長しないでください。

# 無線LAN使用上のお願い

## ■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

## ■ 周波数表示の見方

周波数表示は、Wi-Fi メニューの[認証情報]で確認できます。
下記「認証情報の表示方法」をご覧ください。

2.4DS/OF4

本機が2.4 GHz周波数帯を使用するDSSSとOFDM変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約40 mであることを意味します。

**無線LAN機器使用上の注意事項**

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業·科学·医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日 受付9時～20時

パナは　ルミっくすパチ！
電 話 フリーダイヤル 携帯·PHS OK 0120-878-638
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187　■FAX フリーダイヤル 0120-878-236

## ■ 認証情報の表示方法

本機の認証情報を表示するには、次の順で選択してください。

***1*** セットアップメニューの [Wi-Fi] を選ぶ

***2*** Wi-Fi メニューから [Wi-Fi 設定] を選ぶ

***3*** ▲/▼ で [認証情報] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

## ■ 無線LAN接続について

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

# 仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

| | |
|---|---|
| **電源** | DC 8.4 V |
| **消費電力** | 2.5 W（撮影時）[交換レンズ(H-PS14042)装着時]<br>2.4 W（撮影時）[交換レンズ(H-FS1442A)装着時]<br>2.4 W（撮影時）[交換レンズ(H-FS45150)装着時]<br>2.2 W（再生時）[ 交換レンズ（H-PS14042）装着時 ]<br>2.1 W（再生時）[ 交換レンズ（H-FS1442A）装着時 ]<br>2.1 W（再生時）[ 交換レンズ（H-FS45150）装着時] |

| | |
|---|---|
| **カメラ有効画素数** | 1600万画素 |
| **撮像素子** | 4/3型 Live MOSセンサー　総画素数1668 万画素、<br>原色カラーフィルター |
| **デジタルズーム** | 最大4倍 |
| **EX テレコン** | 写真時：最大 2 倍(記録画素数 [S](4 M)、画像横縦比 [4:3] 選択時)<br>動画時：3.6 倍/4.8 倍 |
| **フォーカス** | オートフォーカス/ マニュアルフォーカス<br>顔認識/追尾AF/23点/1点 /ピンポイント（タッチフォーカスエリア選択可能） |
| **シャッターシステム** | フォーカルプレーンシャッター |
| **連写撮影：連写速度**<br>**連写コマ数** | 20コマ/秒(超高速)、4.2コマ/秒(高速)、3コマ/秒(中速)、2コマ/秒(低速)<br>最大 7 コマ（RAWファイルあり）<br>カードの空き容量に依存（RAWファイルなし） |
| **ISO感度**<br>**(標準出力感度)** | オート/インテリジェントISO/160/200/400/800/1600/3200/6400/12800/25600 ※（1/3 EV ステップに変更可能）<br>※ [拡張ISO感度] を設定時のみ |
| **最低被写体照度** | 約 9 lx(i ローライトモード時、シャッタースピード 1/30 秒)<br>[ 交換レンズ（H-PS14042）装着時 ]<br>約 9 lx(i ローライトモード時、シャッタースピード 1/30 秒)<br>[ 交換レンズ（H-FS1442A）装着時 ]<br>約 12 lx(i ローライトモード時、シャッタースピード 1/30 秒)<br>[ 交換レンズ（H-FS45150）装着時 ] |
| **シャッタースピード** | 60 ～ 1/4000秒<br>動画撮影中の写真記録<br>動画優先時：1/30 ～ 1/16000秒<br>写真優先時：60 ～ 1/4000秒 |
| **測光範囲** | EV 0 ～ EV 18 |
| **ホワイトバランス** | オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/白熱灯/フラッシュ/ホワイトセット1/ホワイトセット2/色温度設定 |
| **露出** | プログラムAE（P)、絞り優先 AE（A)、シャッター優先 AE（S)、マニュアル露出（M)、オート<br>露出補正（1/3 EVステップ、−3 EV～+3 EV) |

| | |
|---|---|
| **測光方式** | マルチ測光/中央重点測光/スポット測光 |
| **モニター** | 3.0 型 TFT 液晶（3:2）（約104万ドット）（視野率約100%）<br>タッチパネル |
| **フラッシュ** | 内蔵ポップアップ式　GN6.3相当（ISO160･m）<br>[GN5.0相当（ISO100･m）]<br>撮影可能範囲：約40 cm～約 5.7 m<br>[交換レンズ（H-PS14042）装着、W端、[ISO AUTO] 設定時]<br>撮影可能範囲：約1.0 m～約5.7 m<br>[交換レンズ（H-FS1442A）装着、W端、[ISO AUTO] 設定時]<br>撮影可能範囲：約90 cm～約5.0 m<br>[交換レンズ（H-FS45150）装着、W端、[ISO AUTO] 設定時] |
| | オート/赤目軽減オート/強制発光/赤目軽減強制発光/<br>スローシンクロ/赤目軽減スローシンクロ/発光禁止 |
| **フラッシュ同調速度** | 1/160 秒以下 |
| **マイク** | ステレオ |
| **スピーカー** | モノラル |
| **記録メディア** | SDメモリーカード/SDHCメモリーカード※/SDXCメモリーカード※<br>※ UHS-I 対応 |
| **記録画素数**<br>　**写真** | <br>画像横縦比[4:3]設定時<br>　4592×3448画素/3232×2424画素/2272×1704画素<br>画像横縦比[3:2]設定時<br>　4592×3064画素/3232×2160画素/2272×1520画素<br>画像横縦比[16:9]設定時<br>　4592×2584画素/3232×1824画素/1920×1080画素<br>画像横縦比[1:1]設定時<br>　3424×3424画素/2416×2416画素/1712×1712画素 |
| **画質設定**<br>　**動画** | <br>AVCHD<br>　1920×1080/60i ※（17 Mbps）<br>　1280×720/60p ※（17 Mbps）<br>　※イメージセンサーからの出力は 30 コマ/秒です<br>MP4<br>　1920×1080/30p（20 Mbps）<br>　1280×720/30p（10 Mbps）<br>　640×480/30p（4 Mbps） |
| **クオリティ（圧縮率）** | RAW/RAW+ファイン/RAW+スタンダード/ファイン/<br>スタンダード/MPO＋ファイン/MPO＋スタンダード |
| **記録画像ファイル形式**<br>　**写真**<br>　**動画** | <br>RAW/JPEG（DCF準拠、Exif2.3準拠、DPOF 対応）/MPO<br>AVCHD/MP4 |

| | |
|---|---|
| 音声圧縮方式 | AVCHD：Dolby® Digital（2ch）<br>MP4：　AAC（2ch） |
| インターフェース<br>　デジタル<br>　アナログビデオ<br>　オーディオ | <br>USB 2.0（High Speed）<br>NTSC コンポジット<br>オーディオライン出力（モノラル） |
| 端子<br>　AV OUT/DIGITAL<br>　HDMI | <br>専用ジャック（8pin）<br>miniHDMI Cタイプ |
| 寸法 | 約 幅 111.2 mm×高さ64.8 mm×奥行き 38.4 mm<br>（突起部除く） |
| 質量 | 約323 g（カード、バッテリー含む）<br>約281 g（本体）<br>約418 g［カード、交換レンズ（H-PS14042）、バッテリー含む］<br>約432 g［カード、交換レンズ（H-FS1442A）、バッテリー含む］<br>約523 g［カード、交換レンズ（H-FS45150）、バッテリー含む］ |
| 推奨使用温度 | 0 ℃～40 ℃ |
| 許容相対湿度 | 10%RH～80%RH |
| 言語切り換え | なし（日本語のみ） |

### ワイヤレス転送部

| | |
|---|---|
| 準拠規格 | IEEE 802.11b/g/n（無線LAN標準プロトコル） |
| 使用周波数範囲<br>（中心周波数） | 2412 MHz～2462 MHz（1～11ch） |
| 暗号化方式 | Wi-Fi 準拠　WPA™/WPA2™ |
| アクセス方式 | インフラストラクチャーモード |

### 専用バッテリーチャージャー: DE-A99A

| | |
|---|---|
| 定格入力 | 100 V－240 V　50/60 Hz |
| 入力容量 | 19 VA |
| 定格出力 | DC 8.4 V　0.43 A |

### リチウムイオンバッテリーパック : DMW-BLG10

| | |
|---|---|
| 電圧/容量 | 7.2 V/1025 mAh |

### 交換レンズ　H-PS14042
### (LUMIX G X VARIO PZ 14–42 mm/F3.5–5.6 ASPH./POWER O.I.S.)

| | |
|---|---|
| 焦点距離 | f=14 mm ～ 42 mm<br>(35 mm フィルムカメラ換算：28 mm ～ 84 mm) |
| 絞り形式 | 7枚羽根　円形虹彩絞り |
| 開放絞り | F3.5（W 端時）～ F5.6（T 端時） |
| 最小絞り値 | F22 |
| レンズ構成 | 8 群　9枚（非球面レンズ 4 枚、ED レンズ 2枚） |
| ナノサーフェスコーティング | あり |
| 撮影範囲 | 0.2 m ～∞ [撮像面から]（焦点距離 14 mm ～ 20 mm）<br>0.3 m ～∞ [撮像面から]（焦点距離 21 mm ～ 42 mm） |
| 最大撮影倍率 | 0.17×（35 mm フィルムカメラ換算：0.34×） |
| 手ブレ補正 | あり |
| O.I.S.スイッチ | なし（手ブレ補正の設定は撮影メニューで行います） |
| マウント | マイクロフォーサーズマウント |
| 画角 | 75 °（W端時）～ 29°（T端時） |
| フィルター径 | 37 mm |
| 最大径 | 約61 mm |
| 全長 | 約26.8 mm（レンズ先端からレンズマウント基準面まで、レンズ鏡筒収納時） |
| 質量 | 約95 g |

### 交換レンズ　H-FS1442A
### (LUMIX G VARIO 14–42 mm/F3.5–5.6 II ASPH./MEGA O.I.S.)

| | |
|---|---|
| 焦点距離 | f=14 mm ～ 42 mm （35 mm フィルムカメラ換算：28 mm ～ 84 mm） |
| 絞り形式 | 7枚羽根　円形虹彩絞り |
| 開放絞り | F3.5（W 端時）～ F5.6（T 端時） |
| 最小絞り値 | F22 |
| レンズ構成 | 8 群　9枚（非球面レンズ 2 枚） |
| 撮影範囲 | 0.2 m ～∞ [撮像面から]（焦点距離 14 mm ～ 20 mm）<br>0.3 m ～∞ [撮像面から]（焦点距離 21 mm ～ 42 mm） |
| 最大撮影倍率 | 0.17×（35 mm フィルムカメラ換算：0.34×） |
| 手ブレ補正 | あり |
| O.I.S.スイッチ | なし（手ブレ補正の設定は撮影メニューで行います） |
| マウント | マイクロフォーサーズマウント |
| 画角 | 75 °（W端時）～ 29°（T端時） |
| フィルター径 | 46 mm |
| 最大径 | 約56 mm |
| 全長 | 約49 mm（レンズ先端からレンズマウント基準面まで） |
| 質量 | 約110 g |

## 交換レンズ　H-FS45150
## (LUMIX G VARIO 45–150 mm/F4.0–5.6 ASPH./MEGA O.I.S.)

| | |
|---|---|
| **焦点距離** | f=45 mm ～ 150 mm<br>（35 mm フィルムカメラ換算：90 mm ～ 300 mm） |
| **絞り形式** | 7枚羽根　円形虹彩絞り |
| **開放絞り** | F4.0（W 端時）～ F5.6（T 端時） |
| **最小絞り値** | F22 |
| **レンズ構成** | 9 群　12枚（非球面レンズ 2 枚、UHR レンズ 1 枚） |
| **撮影範囲** | 0.9 m ～∞（撮像面から） |
| **最大撮影倍率** | 0.17×（35 mm フィルムカメラ換算：0.35×） |
| **手ブレ補正** | あり |
| **O.I.S.スイッチ** | なし（手ブレ補正の設定は撮影メニューで行います） |
| **マウント** | マイクロフォーサーズマウント |
| **画角** | 27 °（W端時）～ 8.2°（T端時） |
| **フィルター径** | 52 mm |
| **最大径** | 約62 mm |
| **全長** | 約73 mm（レンズ先端からレンズマウント基準面まで） |
| **質量** | 約200 g |

**不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。**

**使用済み充電式電池の届け先**
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

**使用済み充電式電池の取り扱いについて**
- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

充電式
リチウムイオン
電池使用
Li-ion 20

# 安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

| | | |
|---|---|---|
| ⚠ | 危険 | 「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。 |
| ⚠ | 警告 | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 |
| ⚠ | 注意 | 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

| | | |
|---|---|---|
| ⊘ してはいけない内容です。 | ❗ 実行しなければならない内容です。 | ⚠ 気をつけていただく内容です。 |

## ⚠危険

**バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない**
（※以降は、「バッテリー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱（電子レンジやオーブンなどで）しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
- 端子部（⊕・⊖）に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

---

**バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する**
（※以降は、「チャージャー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

---

**バッテリーは、本機専用のチャージャーで充電する**

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

# ⚠警告

**異常・故障時には直ちに使用を中止する**

**異常があったときには、バッテリーを外す**

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
・チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
・電源を切り、販売店にご相談ください。

**チャージャーは、誤った使いかたをしない**

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外（交流 100 V～240 V以外）で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

**電源プラグは、正しく扱う**

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく（ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります）
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しない

**分解、改造をしない**

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

**内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない**

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

## ⚠警告

**可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない**

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない

**雷が鳴ったら、触れない**

感電の原因になります。

接触禁止

- 本体やチャージャーには、金属部があります。

**乗り物の運転中に使わない**

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

**運転者などに向けてフラッシュを発光しない**

事故の誘発につながります。

**メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない**

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

**ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない**

誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。

**ショルダーストラップは肩に掛けて使う**

けがや事故の原因になります。

- 首に掛けての使用はしない

**電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない**

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。
長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

# ⚠警告

**航空機内では電源を切る※**

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

※やむをえずこのような環境でカメラ本体を使用するときは、無線LAN機能を使用しないでください。ただし、航空機の離着陸時など、カメラ本体の使用が禁止されている場合もありますので注意してください。

---

**満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る**

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

---

**心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22 cm以上離す**

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

---

**自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは電源を切る**

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

---

**病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る**

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

# ⚠注意

**フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離で直接見ない**

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

**フラッシュを人の目に近づけて発光しない**

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

**フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない**

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

**次のような場所に放置しない**

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ（特に真夏の車内やボンネットの上など）
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

**次のときは、バッテリーを取り出す**

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

**レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない**

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

# ⚠注意

## 3Dの撮影について

**3D交換レンズを付けて最短撮像距離より近い被写体を撮影しない**

3D効果がより強く見える場合があり、疲労感、不快感の原因になることがあります。

- 3D交換レンズ（別売：H-FT012）装着時の最短撮像距離は0.6 mです。

**3D交換レンズを付けて撮影の際、本機の揺れに注意する**

車に乗車中や歩行中などに撮影したブレた画像は、疲労感、不快感の原因になることがあります。

- 三脚の使用をおすすめします。

## 3Dの視聴について

**光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D撮影画像を視聴しない**

病状悪化の原因になることがあります。

**3D撮影画像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する**

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。

■ **近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は視力矯正めがねの装着などにより、視力を適切に矯正する**

■ **3D撮影画像の視聴中に、はっきりと二重に像が見えたら視聴を中止する**

- 3D撮影画像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで3D撮影画像をご覧ください。
- テレビの3D設定や本機の3D出力設定を2Dに切り換えることもできます。

**3D撮影画像を視聴する場合は、30～60分を目安に適度な休憩をとる**

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

**3D撮影画像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする**

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様がご視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

# 保証とアフターサービス(よくお読みください)



使いかた・お手入れ・修理などは

**■ まず、お買い求め先へご相談ください。**

▼お買い上げの際に記入されると便利です

| | | | |
|---|---|---|---|
| 販売店名 | | | |
| 電話 | (　　) | ー | |
| お買い上げ日 | 年 | 月 | 日 |

**修理を依頼されるときは**

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな？と思ったら」(取扱説明書 詳細操作編)でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

| | |
|---|---|
| **●製品名** | **デジタルカメラ/レンズキット/ダブルズームレンズキット/ボディ** |
| **●品　番** | □ DMC-GF6X<br>□ DMC-GF6W<br>□ DMC-GF6<br>お買い上げの品番に記入してください。 |
| **●故障の状況** | **できるだけ具体的に** |

**●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**
保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
(但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません)

**●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

**技術料** **診断・修理・調整・点検などの費用**
**部品代** **部品および補助材料代**
**出張料** **技術者を派遣する費用**

**※ 補修用性能部品の保有期間 8年**
当社は、このデジタルカメラ/レンズキット/ダブルズームレンズキット/ボディの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。

## ■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

**●使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は**

| パナソニック LUMIX（ルミックス）ご相談窓口　365日 受付9時～20時 |
|---|
| 電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK　0120-878-638（パナは　ルミっくすパチ！） |
| ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。 |

**●宅配修理サービスのご案内**（Web サイトからもお申し込みいただけます）

| パナソニック 修理サービスサイト |
|---|
| http://lumix.jp/repair/ |
| インターネットでのご依頼も可能です。 |

■ お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。
（このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります）

**【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】**
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

**愛情点検**　長年ご使用のデジタルカメラ/レンズキット/ダブルズームレンズキット/ボディの点検を！

| | |
|---|---|
| こんな症状はありませんか | ・煙が出たり、異常なにおいや音がする<br>・映像や音声が乱れたり出ないことがある<br>・内部に水や異物が入った<br>・本体やチャージャーが破損した<br>・その他の異常や故障がある |
| ▼ | |
| ご使用中止 | 故障や事故防止のため、本体の電源を切り、充電時はコンセントからチャージャーを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。 |

地域窓口へ直接お持ち込みされる場合は、ホームページにて地図を掲出しております。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

## ■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 北海道地区 | 札 幌 | ☎(011)894-1255 | 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 |
| 東北地区 | 宮 城 | ☎(022)387-1117 | 仙台市宮城野区扇町7-4-18 |
| | 山 形 | ☎(023)641-8100 | 山形市平清水1丁目1-75 |
| 首都圏地区 | 川 口 | ☎(048)297-7820 | 川口市戸塚2丁目23-20 |
| | 千 葉 | ☎(043)208-6034 | 千葉市中央区末広5丁目9-5 |
| | 東 京 | ☎(03)5477-9700 | 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 |
| | 秋葉原 | ☎(03)3251-4616 | 千代田区外神田1丁目8-1第三電波ビル |
| | 国分寺 | ☎(042)328-3211 | 国分寺市東戸倉2丁目38-1 |
| | 神奈川 | ☎(045)847-9720 | 横浜市港南区日野5丁目3-16 |
| 中部地区 | 愛 知 | ☎(052)819-0225 | 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 |
| 近畿地区 | 京 都 | ☎(075)646-2123 | 京都市南区上鳥羽中河原3番地 |
| | 大 阪 | ☎(06)7730-8888 | 門真市松生町1-15 |
| | 吹 田 | ☎(06)6338-1241 | 吹田市春日3丁目20-6 |
| | 兵 庫 | ☎(078)796-3140 | 神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4 |
| 中国地区 | 松 江 | ☎(0852)23-1128 | 松江市平成町182番地14 |
| | 岡 山 | ☎(086)242-6236 | 岡山市北区野田3丁目20-14 |
| 四国地区 | 香 川 | ☎(087)874-3110 | 高松市国分寺町国分359番地3 |
| 九州地区 | 福 岡 | ☎(092)593-8002 | 春日市春日公園3丁目48 |
| 沖縄地区 | 沖 縄 | ☎(098)877-1207 | 浦添市城間4丁目23-11 |

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

1112

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

■使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口　365日 受付9時～20時

パナは　ルミっくすパチ！

電 話　フリーダイヤル　携帯・PHS OK　0120-878-638

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合　06-6907-1187

■FAX フリーダイヤル　0120-878-236

**Help desk for foreign residents in Japan**

**Tokyo** (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

**■宅配修理サービスのご案内**（Web サイトからもお申し込みいただけます）

パナソニック 修理サービスサイト

http://lumix.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

●お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。
（このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります）

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

QuickTime

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社

〒571-8504　大阪府門真市松生町１番15号